

## 札幌の暮し

松浦 俊博

十三年前に娘が札幌に移住して以来、しばしば彼の地を訪れ、その暮しに接するようになった。

新千歳空港から千歳線で北上すると、恵庭・北広島を経て四十分弱で札幌に着く。この辺りは、もともとアイヌの人たちの住む土地を、明治時代に集団移住や屯田兵の入植により開拓し発展した都市だ。札幌駅手前の上野幌かみのつぼろには温泉「森のゆ」があり、露天風呂から周りの森を見てゆったりくつろげる。

どの駅もホームへの入り口は二重ドアで、寒風が駅構内に吹きこまないようにしている。冬の札幌は雪に覆われて、電車やバスが動けなくなることもある。市内の交通手段は地下鉄が無難だ。

札幌駅北口から三分歩くと北大の南側にでる。ここから北方向へキャンパスが延々と続く。構内は西洋芝で覆われ、ポプラ並木、イチヨウ並木、池、農場と自然環境に恵まれている。イチヨウ並木近くに娘の職場があり、移住した頃には、徒歩十分のアパートから通っていた。自転車は十一月から春まで積雪で乗れないので廃却した。

札幌駅から南へ少し歩くと東西方向に延びる大通公園があり、南北の基準になっている。大通駅は、南北線、東西線、東豊線の三本の地下鉄が乗り入れている。東西線で西へ向かうと、札幌の名所である円山公園を過ぎ、琴似はっせむ・発寒などの明治初期に屯田兵が入植した場所を超えて宮の沢に至る。

娘は現在この辺りに住んでいるが、川が流れ芝生の公園もいたる所にあり、熊の出る三角山も緑が映える。この地域の家の塀は無いか、あっても低い。隣近所の繋がり強いのもかもしれない。広い道路の除雪は市が、小さい道は住人がやる。宮の沢の駅前に、回転寿司の「なごやか亭」があり、季節にもよるが脂ののった「ニシン」は極上だ。

北海道の食べ物がおいしいのは、自然の恵みだけではない。道産子が「生活の糧は食べ物作り」と覚悟を決めて、必死で取り組んだ結果だろう。きのとやのケーキ、モリモトのハスカップジュエリー、十勝豚井じゅうとんなど一味違うグルメが多い。

札幌の地図  
(地下鉄を中心にした)

